

## 議事要旨

会議名称	第3回 杉並区荻窪駅周辺総合交通戦略連絡協議会
日時	平成30年1月23日（火）10：00～12：00
場所	杉並区役所 中棟5階 第3・4委員会室
出席者	<p><b>【構成員】</b></p> <p>■学識経験者 大沢氏、高見澤氏、関口氏</p> <p>■交通事業者 東日本旅客鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社、一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会、公益財団法人東京タクシーセンター、一般社団法人東京都個人タクシー協会</p> <p>■関係行政機関 警視庁交通部交通規制課都市交通管理室長、警視庁荻窪警察署交通課長、東京都都市整備局都市基盤部交通企画課長（代理出席）</p> <p>■杉並区 区民生活部副参事（荻窪地域担当）、産業振興センター次長、保健福祉部管理課長（代理出席）、都市整備部長、まちづくり担当部長、土木担当部長、都市計画課長、調整担当課長（代理出席）、まちづくり推進課長、都市再生担当課長（都市整備部副参事（荻窪地区まちづくり担当）兼務）、土木管理課長、土木計画課長、交通対策課長</p> <p><b>【事務局】</b> 杉並区都市整備部まちづくり推進課都市再生担当</p>
配布資料	<p>資料1 議事要旨（第2回 杉並区荻窪駅周辺総合交通戦略連絡協議会）</p> <p>資料2 全体スケジュール</p> <p>資料3 荻窪駅周辺の交通環境に関する現状と課題（詳細版）</p> <p>資料4-1 荻窪駅周辺総合交通戦略の構成イメージ①</p> <p>資料4-2 荻窪駅周辺総合交通戦略の構成イメージ②</p> <p>資料5 将来交通環境（案）及び戦略目標（たたき台）</p> <p>資料6 評価指標の設定（イメージ）</p>
会議次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>（1）全体スケジュールの確認</p> <p>（2）荻窪駅周辺の交通環境に関する現状と課題</p> <p>（3）将来交通環境（将来交通の姿）（案）・戦略目標（たたき台）</p> <p>（4）情報交換・意見交換</p> <p>（5）その他</p> <p>3. 閉会</p>

## <議事概要>

### (1) 全体スケジュールの確認

事務局より、全体スケジュールについて説明した。構成員からの意見は特になかった。

### (2) 荻窪駅周辺の交通環境に関する現状と課題

事務局より、荻窪駅周辺の交通環境に関する現状と課題について説明後、意見交換を行った。

#### 【構成員からの主な意見】

- ・ 今回の交通戦略には、課題を明確にした上で、短・中長期的に何をしていくかを示し、地域住民等に、将来荻窪がどう良くなるかを「見える化」という役割がある。また、再開発等の具体的な動きがあった際に、課題の解決に協力してもらうためのマスタープランとしての役割もある。
- ・ 今後のまちの動向を見据える上で、駅周辺の施設分布図、大規模商業施設等の耐震化の状況や再開発の予定など、施設に関する情報をまとめて整理しておく必要がある。
- ・ 駅前広場については、駅乗降客数に対して面積が小さい中で車両等への対処を図る必要から、滞留空間が少なくなっていることを踏まえ、議論する必要がある。
- ・ 駅施設等への荷捌きが路上で行われている現状を踏まえると、将来的には駅前広場に荷捌き機能を追加する必要がある。
- ・ 荷捌きについては、路外（宅地側）で役割を担った方が良いものもあるため、交通戦略の中で課題を共有しておき、まちの具体的な動きに合わせて協力を得ていくことも必要である。
- ・ 自動車や自転車を「通す」という視点だけでなく、荷捌きや駐輪の問題をはじめ、いかにまちに滞留して楽しんでもらうかなど、「止める」という視点での検討も必要である。
- ・ 教会通りの交通量調査における自転車の押し歩きが少ないという結果については、他の商店街にも共通する問題だと思われ、阿佐ヶ谷の事例などを参考に検討していく必要がある。
- ・ 自動運転や小型モビリティ等の新技術に対応して、都市側がどのような空間を整備すべきか、住宅都市である杉並で検討していくことは、特に大きな意義がある。

### (3) 将来交通環境（将来交通の姿）（案）・戦略目標（たたき台）

事務局より、将来交通環境（将来交通の姿）（案）・戦略目標（たたき台）について説明後、意見交換を行った。

#### 【構成員からの主な意見】

- ・ 戦略目標については、区民等になじみやすい表現となっているが、施策の内容を検討する際には、目指すレベルを明確にしておく必要がある。また、「プロジェクト」より「プログラム」等と表現した方が適当ではないか。
- ・ 交通戦略による具体的な施策の検討に当たって、対象範囲や実施期間を明確にして議論する必要がある。
- ・ 民間事業者がメリットを感じて動くことができるように、駅周辺における施設更新などの動

きを捉えるだけでなく、区として、戦略的に周辺街区の事業者を動かしていくという能動的な進め方も検討してはどうか。

- ・南北連絡動線については、通路ごとに、鉄道利用ではない南北移動にどの程度需要があるかを把握した上で、自由通路化を含め、機能を強化する施策について検討する必要がある。
- ・荻窪駅周辺は、駅前広場におけるイベントスペースの不足に加え、商店街等にポケットパークのようなスペースがないことも課題であり、地元商店街の工夫による小さな滞留空間の創出など、ゆとりがあり、まちに来たくなる空間整備を検討する必要がある。
- ・賢い自転車利用については、買い物利用と通勤・通学利用の施策イメージを念頭に、新技術の活用も含め、基礎データを再整理し、理屈を組み立てる必要がある。

#### **(4) 情報交換・意見交換**

各構成員より、荻窪駅周辺に関する取組や交通戦略に関連する取組について、情報提供等を行った。

#### **(5) その他**

今回は平成30年4月24日（火）15時より、杉並区役所中棟5階第3・4委員会室にて開催予定

以上